

英語科学習指導案

実 施 日 平成 2 3 年 8 月 3 1 日

実施クラス 2 年 4 組 (3 校時)

2 年 5 組 (4 校時)

授 業 者 長谷川 高丸

1 指導単元

Unit 3 "E-pals in Asia"

2 授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

- ・授業評価の質問項目である「簡単な英語を使って身近な事柄を表現する活動」を重視する。
- ・本時では、既習の語句を用いて、なりたい職業やしたいこと（好きなこと）を表現する。

3 本時の授業

（ 1 ）本時のねらい

- ・ to 不定詞の名詞的用法を理解し運用する。

（ 2 ）本時の展開

	学 習 内 容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ Greeting ・ ワークシートの復習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気よく挨拶させる。 ・ want to~ / like to~ のポイント確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Fine, thank you. And you? ・ want to~ / like to~ を使って表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気よく挨拶できているか。 ・ 表現のポイントを確認できたか。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 P. 30~31 「私の夢」 Reading ・ Step 3 Reading ・ Step 4 Writing ・ Presentation 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語らしいリズムやイントネーションを意識させる。 ・ なりたい職業とその理由との結びつきを考えさせる。 ・ なるべく多くの生徒に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な単語だけなので、スムーズに読むことができる。 ・ 職業がなかなか決められない生徒が多いと思われる。 ・ 意欲的に挙手できる生徒とそうでない生徒とに分かれてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強弱を意識して読むことができるか。 ・ 理由の文が英語で表現することができるか。 ・ 間違いを恐れず、発表すること自体が大切なことを知らせる。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあての再確認。 ・ Greeting 	<ul style="list-style-type: none"> ・ want to be~ want to~ / like to~ を確認する。 ・ 元気よく挨拶させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ want to be~ want to~ / like to~ を使って表現する。 ・ See you next time. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に want to be~ が確認できたか。 ・ 元気よく挨拶できているか。